

糖尿病連携手帳について知ろう！



糖尿病連携手帳とは？

日本糖尿病協会が発行しています。患者さん本人と、関係する医療機関や医療関係者とが検査結果や治療方針を共有でき、**糖尿病連携をスムーズに行うための大切な手帳**です。

いつ使用するの？

病院を受診する時と外出時に必ず持参しましょう。外出先で急に体調が悪くなった場合、「糖尿病連携手帳」があると、救急隊員や医療関係者が迅速に対応することができます。

手帳はもっておくだけでいいの？

まず**基本情報**を書きましょう！合併症などの身体状況やかかりつけ医、緊急連絡先などが一目でわかるようになっていきます。受診で検査を行った際は、**検査結果や合併症関連検査**に結果を書き込んでいきましょう！

どんなことが書いてあるの？

血糖コントロールの目標や代表的な合併症について書かれています。合併症予防ポイントなども書かれているため、合併症を発症・悪化させないように活用してください。



かかりつけ医

毎月の定期受診



患者さん

診察には必ず「糖尿病連携手帳」を持参



この手帳は個人の責任で大切に保管・管理してください

かかりつけ歯科医

定期的に歯科検査を受ける



かかりつけ眼科医

定期的に眼底検査を受ける
「糖尿病眼手帳」
日本糖尿病眼学会 発行



ケアマネジャー

介護の現場で主治医と情報を共有



保健師

重症化予防の保健指導と受診勧奨



病院

医療チームによる教育・合併症の評価・治療方針の決定



かかりつけ薬局

服薬状況の管理・把握



連携

糖尿病連携手帳はこのように使えます。毎日持ち歩きましょう！